

〈熊本支部例会事前抄録〉

日 時 : 2020年2月25日(火) 19:30～

会 場 : 添島歯科クリニック研修室

— 一般講演抄録 2 —

**癒合歯を有する患者に対し機能的・審美的に苦慮した一症例**

佐藤俊一郎

佐藤歯科クリニック

〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地212-1

抄 録

長年臨床歯科医として診療したり、学校歯科医として健診していれば、癒合歯を目にすることはそれほど珍しいことではなく、特に最近の子供には増えてきているという実感がある。

乳歯の癒合歯であれば、「永久歯と生え変わる際には気を付けましょね。」とか、「癒合した溝の部分がむし歯になりやすいのでしっかり磨いてください。」とか、そういう指導で事足りると思われる。

しかし、それが永久歯となるとどうだろうか？文献検索やネット検索してみても、癒合歯が永久歯に生じた場合の治療法は全くと言っていいほど出てこない。明確な治療と言えるものはあるのだろうか？

今回、永久歯に生じた癒合歯に対し、何とか機能的・審美的回復が出来ないかを模索した症例を提示し、治療方針が妥当だったのかどうか多くの先生からご意見をいただきたいと思う。

本演題に関して開示すべき利益相反状態はありません。